

3

Once upon a time, further back in the Ashigara mountains, there was a boy named Kintaro living with his mother.

Since the day he was born, Kintaro had red cheeks and was a very stout boy.

And because he ate a big meal every morning, noon and evening, he quickly grew bigger and bigger.



5

Every day Kintaro played together with the animals in the forest.

He played many games such as racing and tug-of-war with the rabbits and monkeys.

Among these, the most exciting game for Kintaro was ^{*} *sumo wrestling*.

Even the much bigger animals, such as deer, horses and boars, couldn't win against Kintaro.

And so Kintaro ended up being the leader of the forest animals.



むかし むかし、あしがらやまの そのまた おくに、
きんたろう という なまえの おとこのこが、
ははおやと ふたりで くらしていました。

きんたろうは うまれたときから、
ほっぺたが あかくて、とても たいかくのいい
おとこのこでした。

おまけに あさ ひる ばんと、
ごはんを やまもりで たべていたので、
ぐんぐんと おおきくなりました。



きんたろうは、まいにち もりに はいって、
どうぶつたちと いっしょに あそんでいました。
うさぎや さるたちと、かけっこを したり、
つなひきを したり。

そのなかでも とくに たのしかったのが
『すもう』でした。

しかや うま、いのししなど、じぶんよりも ずっと
からだの おおきな どうぶつたちを
あいてにしても、きんたろうは まけませんでした。

そして きんたろうは、
いつのまにか このもりの どうぶつたちの、
たいしょうに なっていました。

